



社協だより

第 57 号

平成27年 9月30日発行

発行 者

社会福祉法人
銚田市社会福祉協議会
会 長 鬼 沢 保 平

編 集 者

調査・広報委員 中 島 庸 介

■ ほこたの福祉 ■

社会福祉法人 銚田市社会福祉協議会 茨城県銚田市当間228 TEL 0291-32-5831
ホームページアドレス <http://www.hokotashakyō.or.jp>

手話で学ぼう



東京直下72時間ツアー体験



目 次

- P 2 赤い羽根共同募金事業運動／
歳末たすけあい見舞金事業
- P 3 トピックス
・男も女も腕まくり講座
・星空映画会
・ハッピー☆子育てサロン
- P 4/5 福祉の「め」
- P 6 ふれあいいきいきサロン
日常生活自立支援事業
- P 7 お知らせ／善意銀行
・地域づくり講演会
・ともえ荘休荘のお知らせ
- P 8 保育所（園）・幼稚園児の作品
手と手をつなぐ地域づくり
額相区

赤い羽根共同募金 ウェルフェアサマースクール開催!!

7/24(金)～31(金) 市内小学5年生～高校生を対象に、福祉について興味をもってもらおうと共に、ボランティア活動をはじめめるきっかけづくりを目的に5回にわたり開催しました。

32名が参加し、手話を使ったゲーム・盲導犬施設への訪問・高齢者スポーツへの挑戦・野外研修では東京臨海広域防災公園において「東京直下72時間ツアー」を体験しました。

ボランティア登録をし、早速活動を始めた生徒もあり、さらに活動の輪が広がることを期待します。

 赤い羽根共同募金 このマークのついている事業は、赤い羽根共同募金が活用されています。



赤い羽根共同募金が始まります

10月1日⇒12月31日

10月1日から、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に展開されます。

皆さまから寄せられた募金は、社会福祉施設や県域で活動している社会福祉団体など、さまざまな活動に配分されます。

また、市町村においては、福祉活動団体や、社会福祉協議会を通して障害者（児）、ひとり暮らしのお年寄りやボランティア活動、歳末たすけあい運動などを支援する活動に配分されます。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成27年度目標額

12,592,000円



歳末たすけあい見舞金事業のご案内

この事業は、明るいお正月を迎えられるようにと赤い羽根共同募金運動で集められた募金の一部を、市内で暮らす世帯に配付するものです。

対象要件などをご確認いただき、該当する方は申請書を用意し、必要書類を揃え、市役所または社会福祉協議会の窓口へご提出ください。

●対象要件

見舞金配分の対象となる世帯は、10月1日現在次の(1)～(4)の条件をすべて満たしていることが要件となります。

- (1) 鉾田市内に6か月以上居住している世帯
- (2) 世帯全員の市民税が非課税である世帯
- (3) 生活保護を受給していない世帯
- (4) 民生委員・児童委員の指導援助を必要としている世帯

●対象区分

次に掲げる(ア)～(エ)のいずれかの条件に該当する方または世帯

- (ア) 要援護児童・生徒
 - ・遺児の世帯
 - (交通事故や病気等により死別)
 - ・両親のいない児童・生徒の世帯
- ※いずれも18歳未満の方を対象
- (イ) 障害者手帳の交付を受けている方
 - ・精神障害者保健福祉手帳 1級の方
 - ・身体障害者手帳 1級の方
 - ・療育手帳 A(マルA)の方
- (ウ) 満75歳以上のひとり暮らし高齢者世帯(昭和15年10月1日以前に生まれた方)
- (エ) その他、本会会長が必要と認めた世帯

※ 生活保護法による保護を受けている世帯及び配分対象となる者が入院入所中の世帯は対象外となります。また、同一敷地内に親族がいる場合には対象外とします。

●申請方法

申請を希望する方は、下記の書類を用意し申請してください。

- ① 歳末たすけあい見舞金事業申請書
- ② 世帯全員の市県民税非課税証明書
- ③ 住民票謄本
- ④ 障害者手帳の写し…(イ)世帯

●申請書設置場所

社会福祉協議会 本所・各支所
市役所(社会福祉課・各市民センター窓口)

●提出先

社会福祉協議会 本所・各支所
市役所(社会福祉課・各市民センター窓口)

●申請期間

平成27年10月1日(木)～
平成27年11月10日(火) ※期限厳守

●決定方法

今年度の募金実績と対象世帯数に基づき、歳末配分会議を開催し金額が決定されます。
なお、見舞金は民生委員児童委員を通して12月中旬頃訪問により配付します。

【お問合わせ先】

社会福祉法人 鉾田市社会福祉協議会
☎ 32-5831

トピックス



赤い羽根共同募金 男も女も腕まくり講座開催!!

6月19日(金)～7月10日(金)「男も女も腕まくり講座」(全4回)が開催されました。延べ17名の方が参加し、ウィンナー作りやふすま・障子の張替え、夏野菜を使った軽食づくりに挑戦しました。

この講座を修了した方々をはじめ、様々な特技を持ったボランティアさんとともに、その特技を活かし、社協事業においても協力いただきたいと思います。

赤い羽根共同募金 星空映画会開催!!

8月1日(土)鹿島灘海浜公園において、「鹿島灘夜まつり」に合わせ、星空映画会を開催しました。家族で同じ時を過ごし、互いの絆を深めていただくことを目的に、共同募金の配分金を活用し、開催しています。

上映開始時間が近づくとつれて、会場もたくさんの家族連れで賑わう中、本編に先駆け共同募金PRビデオを流し、午後7時ごろより「河童のクウと夏休み」の上映を行いました。

天候に恵まれ、きれいな星空の下、夏の楽しいひとときを過ごすことができました。



赤い羽根共同募金 ハッピー☆子育てサロン ～ベビーマッサージで親子のスキンシップ!～



8月7日(金)老人福祉センターともえ荘にて、ファミリーサポートセンター主催による「ハッピー☆子育てサロン」を開催しました。

このサロンは、お子さんと一緒にお母さん同士の交流を深める場として、講師やボランティアの方々のご協力をいただきながら、毎月第一金曜日に開催しています。

今回は、ロイヤルセラピスト協会認定講師の松田佳織さんによる「ベビーマッサージ」講座が行われ、親子のスキンシップやコミュニケーションの大切さについてアドバイスをいただきました。

福祉の「め」

つながる



旭南小 6年
小 橋 凜 夏

私たちの学校では、四月に「旭南ひまわりプロジェクト」を始めました。これは、東日本大震災で被害を受けた福島への復興支援の一環で、福島で育ったひまわりの種を私たちの学校で育てて花を咲かせ、その種を福島に送り返すものです。福島では、このプロジェクトにより障害者の方々の仕事が生み出されるなど、復興に向けての大きな力になっているそうです。

原発事故で福島から本校に

避難してきていた友達がこの春に福島に帰りました。その際、ひまわりプロジェクトを紹介してくれたことが、きっかけとなりました。

あの四年前の震災の日、ガタガタと大きな音を立ててゆれ続けた教室を、私は今でも思い出します。彼女はそこへ、福島で、原発事故のために、もっとつらい思いをしていたので。転校していく彼女の思いを受け継ぎ、このプロジェクトを絶対に成功させ、福島の人々の力になりたいと強く思いました。

プロジェクトでは、福島から種を買ったためにチラシやポスターを作り、全校集会を開き、全校児童や家庭、地域の人々に募金を呼びかけ、たくさん種を買ったことができました。校庭にまいたたくさん種が、夏休みには大きく成

長し、きれいな花を咲かせました。

私がこの活動で学んだことは、みんなが協力しあうことの大切さです。募金活動もポスター作りも種まきも、みんなの協力なしに行うことはできませんでした。家庭、地域学校を含むみんなの協力があるからこそプロジェクトが前に進むことができたのだと思います。

この活動で、学校と家庭、地域がつながってきました。ひまわりの種を通じて今度は福島ともつながり、これからもずっと福島に寄りそってきたいと思います。



舟木小 6年
金 谷 千 夏

私の大切なもの 〜家族〜

私には、この世の中で大切

にしたものがたくさんあります。クラスの友達、大切にしている宝物など、たくさんありますが、その中でも私が一番大切にしたいと願っているものは「家族」です。

祖父は、野菜や果物に詳しく、祖母は花や植物を育てることが大好きです。そんな二人から、私は花の名前や育て方、野菜や果物の育て方をたくさん教えてもらい、今では詳しくなり、季節によって色とりどりに花が咲き、変化する我が家が大好きです。

弟とは、家でもよくケンカをしてしまいます。ケンカの原因は、覚えていない位ささいなことです。それでも、くだらないことをはなせる弟との時間は私にとってかけがえないものです。

私の父は、仕事が忙しく、ほとんど休みがなく、私が学校の休みの日も働くことが多いです。そのため、なかなか一緒に過ごせません。しかし、その分休みの日には、色々な場所へ連れて行ってくれます。なかなか会えないからこ

短い時間で、もっと絆を深めていきたいいなと思っています。

母は、休みの日に勉強を教えてくれたり、一緒にお出かけに連れていってくれたりします。しかし、母には、怒られてしまうことも少なくありません。私もすねてしまい、ひどい時には一日一言も口をきかない事さえあります。でも、振り返ると、母は私のこと pensando 怒ってくれているのだと毎回思います。そう思うと、この世界で私のことを一番よく見てくれてるのは、母なのだと思えます。

私のことを、大切にしてくれるこの家族を、私も大切にしていきたいと思っています。



助け合う家族

白鳥東小 6年
飯岡 由希子

「大きくなったなあ。」

声をかけられ顔を上げると、どこかで見たことのあるような人が立っていました。それは、私の曾祖母（大ばあ）をデイサービスへ送りむかえしてくれていた運転手さんでした。

「由希子たちがいつも大ばあといっしょにいたから覚えていてくれたんだね。」とお母さんが言ってくれたので、何だかうれしくなりました。

私の記憶の中での大ばあは、縁側で日なたぼっこしていたり、ベッドでねていたりして

いて、元気に歩くことはできませんでした。私が生まれたころには、私のことをだっこして、あやしてくれていたそうです。しかし、段差につまづいて転び、骨折してしまっただけからは、体も不自由になりました。

ベッドでねたきりの生活を送る大ばあを、家族みんなで介護しました。ご飯を食べさせてあげたり、ね起きの手助けをしてあげたり、着がえを手伝ったりもしました。

私はまだ小さかったけれど、みんなのまねをして、水や薬を飲ませてあげたり、いろいろなおしゃべりをしたりしていました。すると、家族がよくほめてくれました。今思えば、私がしていたことは大ばあのためになっていたんだなと思います。

私は大ばあの部屋で、よくリボン結びの練習をしています。大ばあが何か教えてく

れるわけではないけれど、大ばあといると、なぜか安心できました。

このように、家族がみんなで介護しているとき、大ばあはいつもにこにこしていました。きつと、家族が自分のために何かしてくれていることが、うれしかったんだと思います。

AED講習を受けてみて

銚田北中 2年
山口 芽依

私は、先日学校でAED講習を受けました。その時いくつか感じた事があります。

最初に感じたのはAED設置についてです。現在、日本は四人に一人が六十五歳以上

という「超高齢化社会」を迎えています。それにともない、老人ホーム、胃などへAED設置が必要となってきたと思います。しかし、設置するだけでは意味がありません。

使い方を良く知る必要があると思います。AEDをいつ使う時が来るか分からないからです。そして、いつ来てもその場に合った対応ができるようにする必要があります。

二つ目は、どんな人も住み良い地域づくりをしたいという事です。小さい子供、障害者の方、お年寄りなどみんなが不自由なく楽しく生活できる地域になればいいなと思います。

そのためには、高齢者や障害者などが使う車いすのため、階段があるところには、階段とは別に「スロープ」などを設置することです。その他に、目が見えない人が一人

でも危なくないように、横断歩道の信号に音をつけ、耳で聞き分けるようにすることです。

そして、それとは別に、人と人の助け合いも必要だと思います。重い物を持っていたら「持ちます」の一言で助かります。その、「助け合い」や『つながり』を大切にしていきたいと思います。

このように、AED講習によって思ったことがありました。そして、これから少しでも出来ることがあればたとえどんなに小さいあいさつや助け合いなどもやっていきたいと思いました。



ふれあいうきうきサロン

なごみ会発足

なごみ会 (旭地区)

昨年、平成二十六年四月に立ち上げました。

旧大谷村小学生小学校跡地に子生コミュニティセンターがあります。会員の集会所になります。敷地脇には八幡神社があります。神祭りに使用される幟りは、藤田東湖の直筆の幟りでしたが、保管が大変な為に県立歴史館に保存をお願いしてあります。子生区では写しを使用していますが、最近はそのままならなくなつて歴史が忘れさられようとしています。

私達の区も高齢化が進み隣と隣との交流も少ないとの話が聞こえてきます。区の有志による総会を実施して老人会を立ち上げようと、意見は一致しました。名称は「なごみ会」としました。私達の区は三班ありますが、役員は会長一名、副会長三名の中から会計も含め、役員は早く承諾してくれました。

早速、会員の募集をすると、七十名の協力を得て、社協旭支所に届けました。年間行事は、社協の「いきいきサロン」などに登録しました。輪投げ、グランドゴルフ、クロツケー、カラオケ、芸能大会などです。練習が大変でした。

神社の清掃(年二回)、クロツケーは県大会で優勝(金メダル)し、市長に報告しました。

お褒めの言葉を頂きました。勉強会では、シルバートレーニング、交通安全講習、オレオレ詐欺についてなどです。日帰り研修(社協バス)年二回。会員は会話が出来、健康によいと、怪我も無く、病人もなく、活き活きと過しています。楽しい会ができました。

途中の入会はオツケーの為、是非参加して下さい。少しずつですが会員が増えて来ています。生き甲斐のある会を続けていきますので、宜しくご指導のほどお願い致します。

会長 築場 豊



災害義援金の募集について

台風18号などによる大雨により、家屋の浸水や倒壊などの災害を受けた方々を支援するため、茨城県共同募金会において義援金の募集を行っております。

■受付期間

平成27年11月30日(月)まで

■受付方法

(1) 振込みいただく場合の振込口座

- ・常陽銀行 本店 普通 3732194 社会福祉法人茨城県共同募金会茨城台風18号災害
- ・筑波銀行 県庁支店 普通 1135776 社会福祉法人茨城県共同募金会茨城台風18号災害
- ・ゆうちょ銀行 00140-0-791310 茨城県共同募金会 台風18号等災害義援金

(2) 現金書留による義援金の送付住所

〒310-0851
茨城県水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館2階
社会福祉法人 茨城県共同募金会

(3) 直接お持ちいただく場合の受付場所

社協本所・各支所において受け付けています。
受付時間は、平日の午前8時30分から午後5時15分までです。

■税法上の優遇について

義援金は、所得税法第78条第2項第1号及び法人税法第37条第3項第1号に規定する「国又は地方公共団体に対する寄附金」に該当します。



視覚障害など目の不自由な方へ…

点字ボランティアが点訳、音訳ボランティアが朗読した「社協だより」をお届けしています。希望される方は、社協までお申込みください。

お知らせ

みんなが安心して暮らせるために 地域づくり講演会を開催します

地域を取り巻く環境は、少子高齢化問題と地域連携の向上が求められています。そのため住民組織やボランティア団体の取り組みを展開していますが、より具体的に展開できるよう、地域の実情を含めた事例から学ぶとともに、安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指して開催します。

- 日時と内容 平成27年12月23日(水) 13:00~16:00
 第1部 13:00~13:40 福祉作文コンクール発表及び表彰
 第2部 13:45~14:15 事例発表(串挽下区長・郡司良治氏)
 第3部 14:30~16:00 講演(茨城NPOセンター・コモンズ 事務局長 大野覚氏)
- 場所 鉾田市汲上2601番地
 鉾田市立大洋公民館 大研修室
- 定員 200名
- 申込方法 社協鉾田本所(☎32-5831)へTELにてお申込みください。



～「ともえ荘」休業日のお知らせ～

日頃より、ともえ荘をご利用いただきありがとうございます。
社協事業開催に伴い、平成27年10月31日(土)は休業させていただきます。
ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

多くの善意を ありがとう

期間：7月11日～9月10日現在

善 意 金

- 福祉一般へ預託
 - ・鉾田理容組合 16,700円
 - ・鹿行ハイヤー協議会 鉾田支部 30,000円
 - ・鉾田カラオケ振興会 10,000円
 - ・ハッピークラブ 10,000円
 - ・茨城旭村農業協同組合
 茨城旭村農協生産部協議会
 107,100円



- ・鉾田地区民生委員児童委員協議会(7月) 4,448円
- ・鉾田地区民生委員児童委員協議会(8月) 4,080円
- ・AGC会長 小野瀬 秀明 60,000円



- 障害福祉へ預託
 - ・大洋さつき会 5,550円

善 意 品

- ・山口 廣さん
 未使用テレホンカード6枚、
 未使用切手418円分
- ・小沼 直幸さん 自転車
- ・匿名 石鹸、歯ブラシ

- ・匿名 おむつ51袋

「使用済み切手・ テレホンカード等」

- ・鎌田 恵子さん 使用済切手
- ・田山 和枝さん 使用済切手
- ・阿久津基弘さん 使用済切手
- ・野友小学校
 書き損じはがき、使用済切手
- ・鉾田舟木郵便局 使用済切手
- ・鹿島地区青少年赤十字(JRC)
 書き損じはがき、使用済切手、
 使用済テレホンカード



- ・葛西商店 使用済切手
- ・鉾田市役所 社会福祉課 使用済切手
- ・旭市民センター 使用済切手

保育所(園)・幼稚園児の作品

あどけない子どもたちが、絵をとおして福祉の「め」を育むことも大切です。

市内の保育所(園)や幼稚園にご協力をいただいております。



「お泊り保育」

カラフルなお魚さん達に、お泊り保育の楽しかった思い出を書きまじがりました。

この日は保育園 はんちゅう組(年長児)

「絆の輪」

人と人のつながりの中で、寄り添い共に成長していくような絆を結ぶイメージで作りました。

わんぱく保育園

3才児



手と手を
つなぐ

地域づくり

(地域福祉活動推進事業)



社協では、地域が自主的に実施する交流事業や健康づくり事業等に対して、補助金を交付しています。今回、その中から1地区を紹介します。

「地域の団結」

(鉾田地区額相区)

今回で25周年を迎えた区民祭りを8月23日開催しました。子供達からお年寄りまでたくさんの方に参加いただき、大変にぎわうことができました。

模擬店では、焼きそば、かき氷、たい焼き、ポップコーンなどたくさんのお店が出店し、みんなで楽しく食べながら交流することができました。

また、祭りの後半にはたくさんの方



景品を用意してビンゴゲームを行いました。当たった方もはずれた方もいましたが大いに盛り上がる事ができました。

そして、最後には区の消防団の方達による花火の打ち上げが行われ、大盛況のうちに祭りを締めくめることができました。

祭りを通して、地域の交流を図り、つながりを深めることができました。今後もこの歴史ある祭りを開催し、地域の団結を大切にしていきたいと思えます。

区長 小池 明

※掲載地区を募集しておりますので、お気軽にお問合せください。